

きょうわちくほぜん かい
協和地区保全の会



協和地区の水田景観

愛別町は森林や水資源に恵まれ、稲作やきのこ生産の盛んな地域である。

しかし近年では、農業者の高齢化や担い手の減少が進み、耕作放棄地に繋がるのではないかなど懸念されていた。

こうした課題を受け、本地区では、担い手への農地の集積や地域内で連携した営農活動が行われ、耕作放棄を防ぐことにより土砂崩壊や土壌浸食の防止に繋がっている。



あいべつ
北海道愛別町



畦畔の草刈り作業

〔土砂崩壊防止、土壌浸食防止、洪水防止〕

農地・施設の点検、管理、補修等を共同で実施、管理することで、土砂崩壊、土壌浸食の防止に努めている。

また、近年の豪雨による下流地域での洪水被害を受け、大雨時には田んぼダムとして水田の一時貯留を実施しており、平成 27 年の豪雨時には洪水被害の防止に貢献した。

〔生物多様性の保全〕

町内を流れる愛別川に生息するヤマメの稚魚を、毎年 6 月の半ばに地域の子供たちと共に町内 6 箇所で放流を行っている。

本会は、会設立時から放流活動に携わっており、町内の自然生態系の保全に寄与している。

〔地域社会の振興、体験学習と教育〕

本会の一員である「(有)協和農産」では、地区のもち米を使った 6 次産業化に取り組み、農の魅力伝えていく。

また、道内各地で開催されているイベントにも積極的に参加しており、地域や特産物の PR にも大きく貢献している。



ヤマメの放流活動



イベントでの地域特産物のPR活動の様子



自社栽培のもち米を使ったもち製品